



# 多様な価値が会う、刺激的な37日間!

## フェスティバル/トーキョー15のテーマは「融解する境界」

### 国境・世代・ジャンルを超えた国内外の作品を中心に、多彩なプログラムを展開する

## 新たな可能性を切り拓く、同時代の表現が集結

第8回目となる国際的な舞台芸術祭フェスティバル/トーキョー15が10月31日(土)から12月6日(日)まで開催される。12演目+3企画の主催プログラムは、日本の舞台芸術シーンを牽引する演出家による国境を越えたパートナーシップに基づく共同製作や、演劇と音楽が強く結びついた作品、そして昨年度に引き続き、アジアの「いま」を照射するアーティストを紹介すること、そして東日本大震災の経験を経て生みだされた表現に強く目を向けている。

まず、昨年につづいてオープニングを飾るのが2日間にわたる盛大な祭り『フェスティバルFUKUSHIMA!@池袋西口公園』。大友良英によるオリジナル楽曲「池袋西口音頭」の生演奏のもと、盆踊りの輪が広がり、人々の出会いの場が創出される。

つづいて今年最大の特徴である演劇と音楽が異なる形で不可分なまでに結びついた作品たちは必見だ。シェイクスピアの恋物語を野田秀樹が潤色したSPACの『真夏の夜の夢』は、俳優が演技と演奏の両方を担う祝祭音楽劇。地点と気鋭の3ピースバンド・空間現代はマヤコフスキーの『ミスチリヤ・ブッフ』に挑む。そして前代未聞のクリエイションとなるのが、『ゾンビオペラ「死の舞踏」』だ。作曲家の安野太郎が考案した「ゾンビ音楽」(コンピューター制御された指がリコーダーやクラリネットなどの楽器を自動演奏する)を起点としてドラマトゥルクの渡邊未帆、美術を担当する危口統之とともに、神に先導され恐怖に踊る「死の舞踏」を描く。安野は「ゾンビやロボットによる表現は、昔から、人間やその社会を映し出す鏡。我々の社会を違う視点から見つ

めることができる」と語る。彼らがゾンビを通して映し出す「いま」の社会、そして「死」。オペラの新領域も拓くであろうこの試みは、見逃せない。

ふたつの日韓共同製作作品にも注目したい。岡田利規は、『God Bless Baseball』と題した新作で「野球」というモチーフから、両国の歴史と文化を改めて見つめる。多田淳之介とソン・ギウンの再タッグによる『颱風奇譚 태풍기담』では、下敷きとするシェイクスピアの『テンペスト』に日韓の歴史と文化が重なり、私たちの現在が映し出される。いずれも「アジア諸国と日本との共同製作では、いかに自らの立場を国に置き換えずにアーティストが物を言えるかが重要」とディレクターズコミッティ代表・市村作知雄が語るように、今年のテーマを体現した表現を目撃することになるはずだ。

そして日本初招聘となるスペインのアンジェリカ・リデルの代表作『地上に広がる大空(ウエンディ・シンドローム)』は今年の目玉といえる。アヴィニョン演劇祭をはじめ、大きな話題を集めた本作。「青春の喪失、老いて見捨てられることへの恐怖、母性への憎悪」の3つを描いたと語るリデル自らが演じるウエンディの怒濤のモノローグは、まさしく圧巻。この過激な、美と混沌が共存する舞台は、東京の観客に大きな驚きをもたらすだろう。

また、昨年から開始したアジアシリーズでは、急速な社会の変化と共に新たな表現が生まれつつあるミャンマーを特集する。

国境はもちろん、アートの領域、創る側と観る側の線引きなど、様々な境界を問い直す刺激的な体験を楽しみたい。

(左)『フェスティバルFUKUSHIMA!』昨年の池袋西口公園での盆踊りの様子  
(中央)『地上に広がる大空』のワンシーン  
(右)『가모메 칼메기』ソン・ギウン×多田淳之介。東亜演劇賞受賞

「演劇×ダンス×美術×音楽...に出会う37日間 フェスティバル/トーキョー15」10月31日(土)～12月6日(日) 東京芸術劇場 ほか

10月31日(土)～11月1日(日) 池袋西口公園  
「フェスティバルFUKUSHIMA!@池袋西口公園」  
総合ディレクション:プロジェクトFUKUSHIMA!+山岸清之進

11月19日(木)～22日(日) シアターイースト  
ゲート・インスティテュート韓国 × NOLGONG 「Being Faust - Enter Mephisto」  
構成:ピーター・リー

11月21日(土)～23日(月・祝) プレイハウス  
「地上に広がる大空(ウエンディ・シンドローム)」  
作・演出・美術・衣裳:アンジェリカ・リデル(アトラ・ピリス・テアトロ)

11月26日(木)～29日(日) シアターイースト  
富士見市民文化会館 キラリふじみ 「颱風奇譚 태풍기담」  
作:ソン・ギウン 演出:多田淳之介 ほか 多数ラインアップ

チケット | F/Tチケットセンター 03-5961-5209(12:00-19:00 定休日あり)  
取扱い | 東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296(10:00-19:00 休館日を除く) ほか

9月27日(日) 10:00より  
一般発売開始

【総合問合せ】フェスティバル/トーキョー実行委員会事務局 Tel. 03-5961-5202 <http://festival-tokyo.jp/>

同時開催 **入場無料**

アジア舞台芸術祭2015  
11/13(金)～15(日)シアターイースト ほか  
プロデューサー:宮城 聡  
【お問合せ】東京都生活文化局文化振興部  
企画調整課アジア舞台芸術祭担当  
Tel. 03-5388-3150  
[www.butai.asia/j/](http://www.butai.asia/j/)

## I N F O R M A T I O N

### 鑑賞サポート

目や耳の不自由な方を対象に、舞台・公演説明会、字幕機提供サービス(無料・要事前申込)等を実施しています。詳細は事業ごとに異なります。

10～12月  
対象公演

「ランチタイム・パイプオルガンコンサート vol.114」(11月5日) ※公演説明会実施  
「書を捨てよ町へ出よう」

【お問合せ】東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296

### 新規ショップのご案内

10月より天然酵母酒種パン「峰屋」がオープン致します。  
営業時間10:00～19:00(予定)